

第419輯

わが町と原

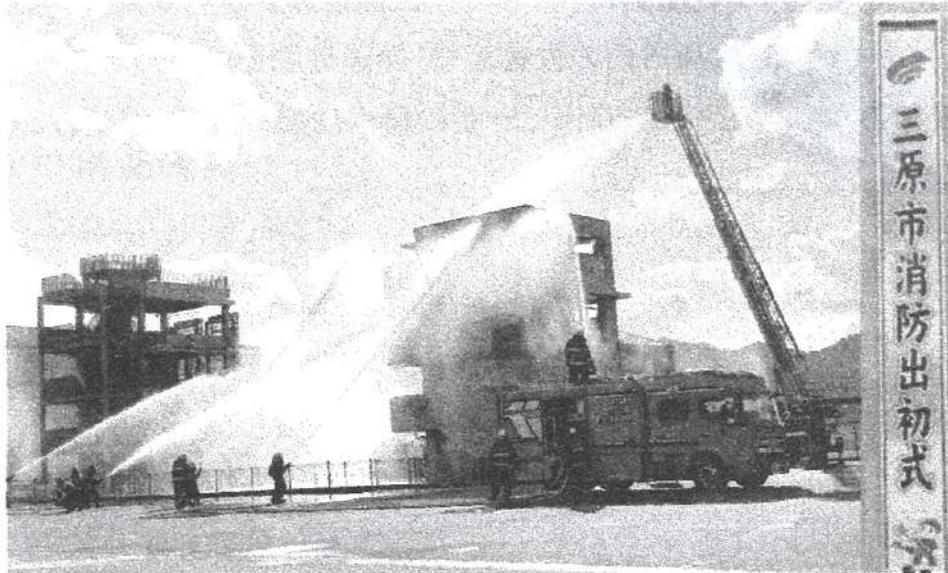
みはら歴史と観光の会

平成33年3月創刊
月刊

令和8年

2月号

火災^{ゼロ}を願う出初式挙行



〔 三種類一斉の放水披露 〕

R8.1.11 撮影 鈴木健次(宮浦)

1月11日 宮浦の消防本部で市長・市議会議員等との臨席で出初式が挙行された。昨年11月に実施された「広島県消防ポンプ操法競技大会」に出場した選手によるポンプ車操法展示や放水技術指導会において特に優秀と選抜された3分団による放水訓練、高いビル間に渡された命綱を往復するレスキュー隊による救出作業等が披露され、最後に梯子車、消防車、可搬型ポンプからの放水訓練が一斉に実施され、万来の拍手を浴びて終了した。

二 月 の 行 事	各 地	01日(日)	文化財と未来の文化財の祭典	芸術文化センター ポポロ
		01日(日)	節分豆まき	糸碓神社
		03日(火)	節分豆まき	三原八幡宮・賀羅加波神社・瀧宮神社
		06日(金)~08日(日)	神明市(神明さん)	東町~館町~本町一帯
		21日(土)	御福開祭	はだか祭 久井稻生神社
会	28日(土)	勉強会	「三原志稿(3-2)」	実施要領は12頁に記載

P 1	表紙…表題： 火災0を願う出初式挙行	行事予告
	写真： 三種類一斉の放水披露	
2	佛通寺と杉本五郎	三原自然史研究会会員 吉原 和喜
3~6	沼田東町納所 万性寺について	沼田東町 西村 雅幸
7~11	資料から読みとる江戸時代の三原	安田女子大学教授 島田 大助
12	会よりの便り	事務局



きさらぎ
如月



ひのえ うま
丙午

AJ2686

令和八年

AD2026

今月の各地

むら くら。

まち まち

歳時記

佛通寺と杉本五郎

三原自然史研究会会員 吉原 和喜

就職してすぐの頃、広島市内の古書店で「佛通寺物語」という本を買った。地元の古刹に関する本ということもあったが、一番の購入動機は著者が俳人大山澄太さんだったからだ。

大山さんを知ったのは松山市内の高校に通っていたとき。高校での講演会講師が大山さんだった。演題は種田山頭火。大山さんは山頭火と親交が深く、そのひととなり、句の背景などを熱く語った。なかでも山頭火の母が自宅の井戸に身を投げて自殺したときの山頭火の悲しみと絶望を涙ながらに話す大山さんを今も覚えている。

それから約50年、再び佛通寺物語を書棚から引っ張り出すことになる。きっかけはポポロ館長の片山杜秀さんだった。片山さんは2025年1月放送のNHK番組「100分de名著 宗教とは何か」のなかで、杉本五郎陸軍中佐の「大義」を紹介。～絶対的な「信じる心」と戦争の時代～とのタイトルで大義を論じた。内容はテキスト「100分de名著」をぜひお読みいただきたい。

杉本さんは約10年にわたり毎週広島の第5師団から鉄道と徒歩で佛通寺まで通い、山崎益洲老師のもと参禅した。その参禅は老師をして「命がけ」と言わしめるほど厳しいものだった。大山さんも佛通寺物語の「杉本五郎居士の修行ぶり」中でその様子を語っている。杉本さんは昭和12年戦死。翌年、杉本さんが将校教育用にまとめた文章と家族に残した遺書と合わせて、「大義」が出版され、100万部を超える大ベストセラーとなった。

「大義」は三原市の図書館には無かった。古書店に尋ねたところ、「2~3年前に1冊あったが今はない、たまに入る」との返事だった。佛通寺の岩壁には杉本さんが大書した「尊王」の文字が刻まれ、境内には杉本五郎居士絶筆の碑が残る。同じ時代に山崎益洲老師のもとへ山頭火は拝登、大山、杉本は通い座禅した。「大義」から約90年。「しづかにもしづかなるかな」と山頭火が記した佛通寺は今も変わらない。杉本さんが修行した禅堂獅子窟では今も月例座禅会が行われている。

レキカンだより

みはら歴史と観光の会

723-0051 三原市宮浦6丁目 9-32

令和8年2月

検索

わが町三原

～みはら市民協働サイト「つなごうねっと」加入団体～

レキカンは新入会員・再入会員を募集・歓迎しております

行 事 報 告

- 12月26日 月報発送配布作業(奥川、大原、岡田、小川、川上、桑田、小森、
正田哲、瀬畑、高杵、西村、松竹、三好他)
- 01月01日 初日の出拝(桜山山頂)
- 01月05日 1月度理事会(年間行事計画、三原市の観光改善への提案他)

行 事 予 定

1. 勉強会 三原志稿(3-2)
 - (1) 日 時 2月28日(土) 10時～12時
 - (2) 会 場 サン・シープラザ3F 第2会議室
 - (3) 内 容 「三原志稿」の輪読

2. 行事予告 詳細内容と参加募集は3月号とします
いずれも、マイクロバスで 行き先巡りとなりそうです。
 - 2.1 春のハイキング
 - (1) 実施日 4月09日(木)
 - (2) 行 先 佐木島の以下が候補
①和霊石地藏 ②塔の峰の桜 ③郷土資料室
④第五北川丸の慰霊碑 ⑤安楽寺の山門など
 - 2.2 県史協 臨地研修…今後は、講演会と臨地研修は別々の団体が
担当となり、現在、臨地研修のみ候補団体があります。
 - (1) 実施日 10月～11月
 - (2) 行 先 大崎上島の ①海と島の歴史資料館 ②野賀のお台場
③圓妙寺 ④手作り醤油見学など